

200930 関東及び中部東海のデータについて

(世田谷の巨大な1本立ちと周辺のデータ。関東直下の大地震の続き。)

いままで繰り返し書いてきましたが、世田谷の8月5日の一本立ちは 時間当たり MAX100万と、とても大きく、単なる1本立ちでなく割れた形の2本のデータです。前にも書きましたが、このような2つに割れた大きな1本立ちが出た場合は いままでに 大きな地震につながるケースが何度かありました。

しかしめぼしい地震発生がないままですすでに9月30日になっており。通常はデータが出てから約20日程度で発震するケースが多いのですが 今回はほぼ2か月近く経っています。

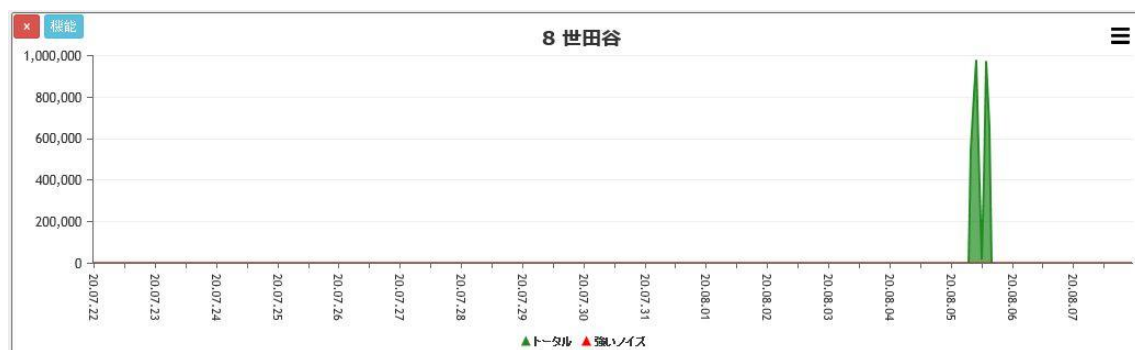
だがここへ来て 180日間(半年間)の日毎データをとったところ関東～中部、東海の多くの観測点のデータが 減衰→収束に近づいています。(以下参照) また今週末は満月で秋の中秋の名月ですが 地震予知としては いわゆる満月トリガーの期間に入り、地震が発生しやすくなる時期にかかります。

三浦半島では 既述のように6月から4回の異臭騒ぎが起きていることを勘案するとこの週末～週明けまでは関東、東海の大きな地震に再度注意が必要と考えます。

以下に各地の関連データを載せます。ご参考にしてください。

<<各地のデータ>>

世田谷 8月5日の1本立ち (二股になっている・Max100万)

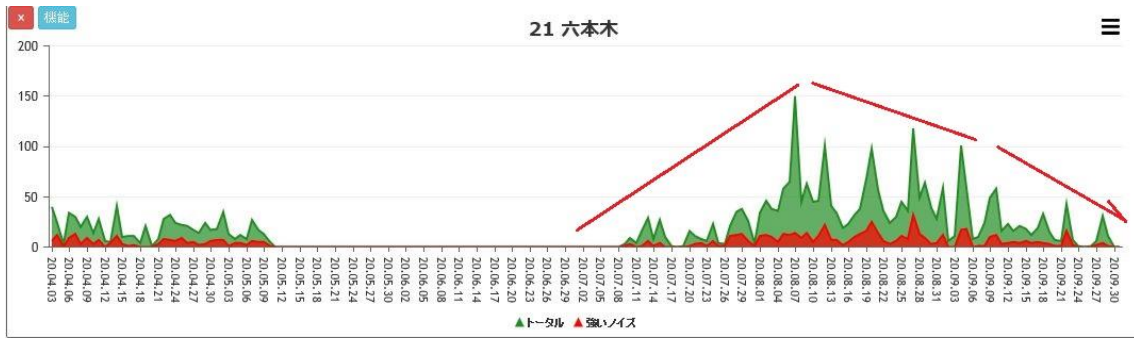


各観測点 180日間(日毎)データ

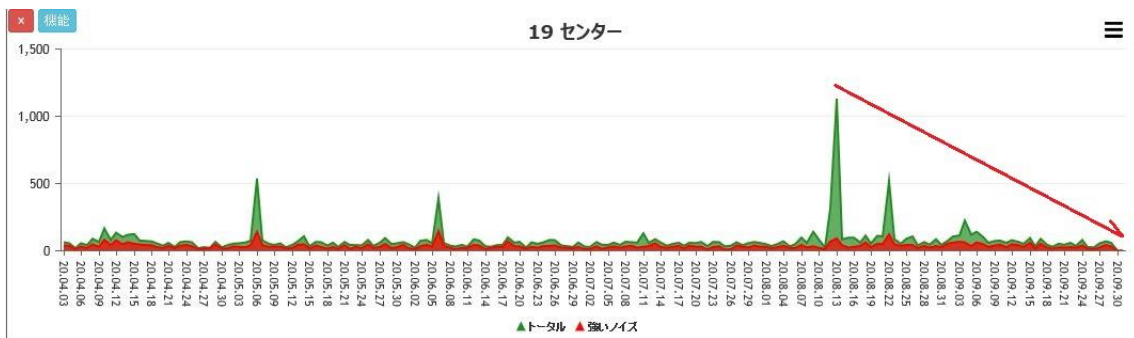


<その他周辺の同期したデータ>

六本木 180 日間日毎データ



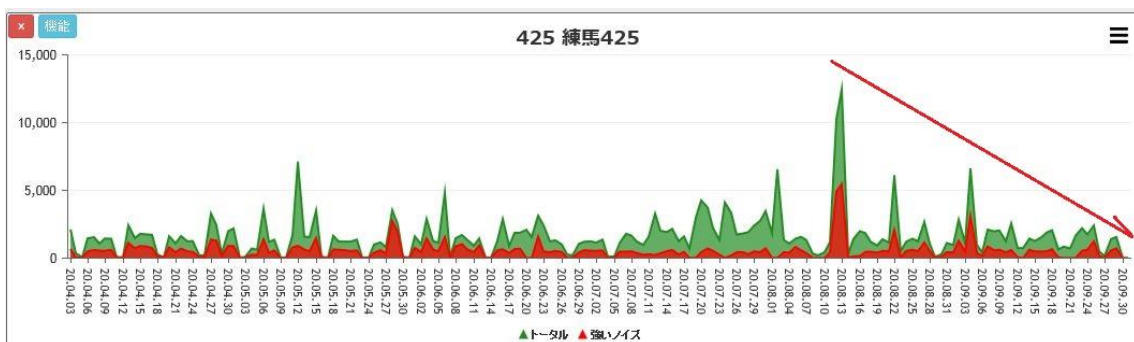
センター (世田谷) 180 日間日毎データ



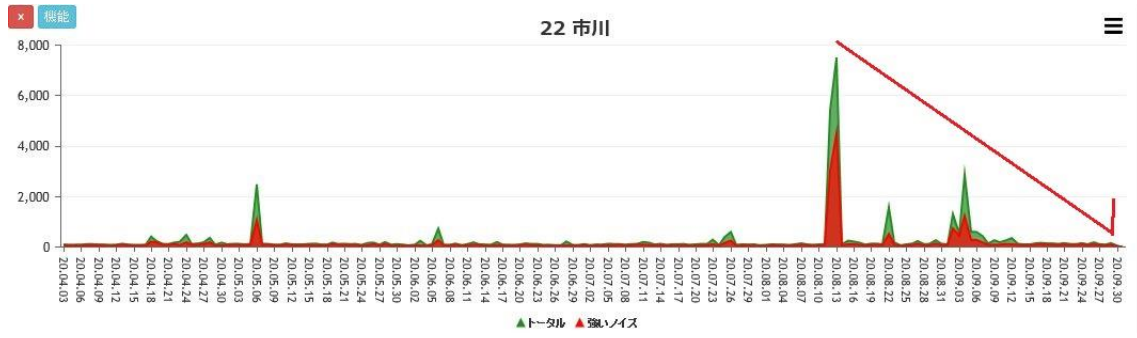
文京 180 日間日毎データ



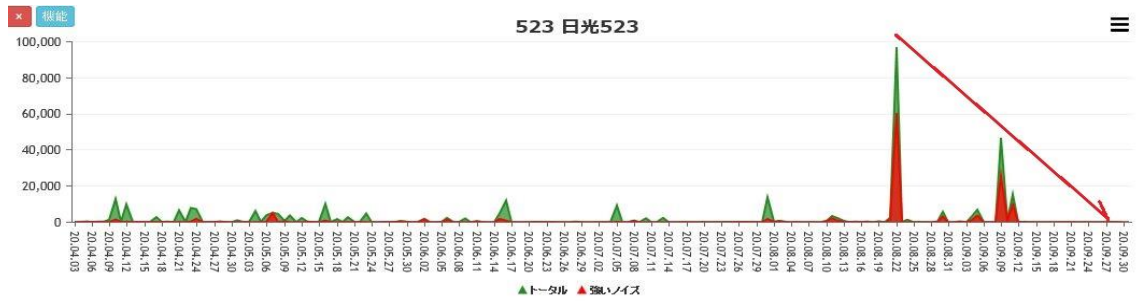
練馬 180 日間日毎データ



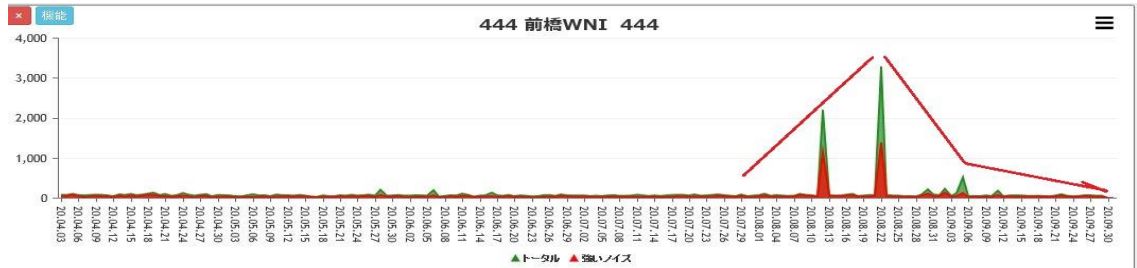
市川 180 日間日毎データ



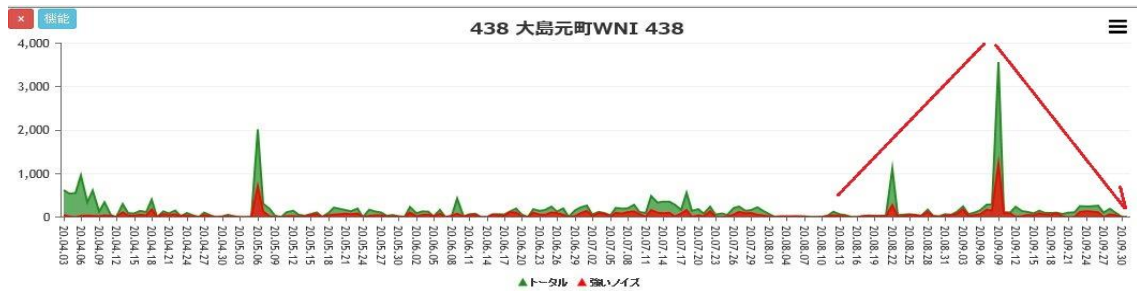
日光 180 日間日毎データ



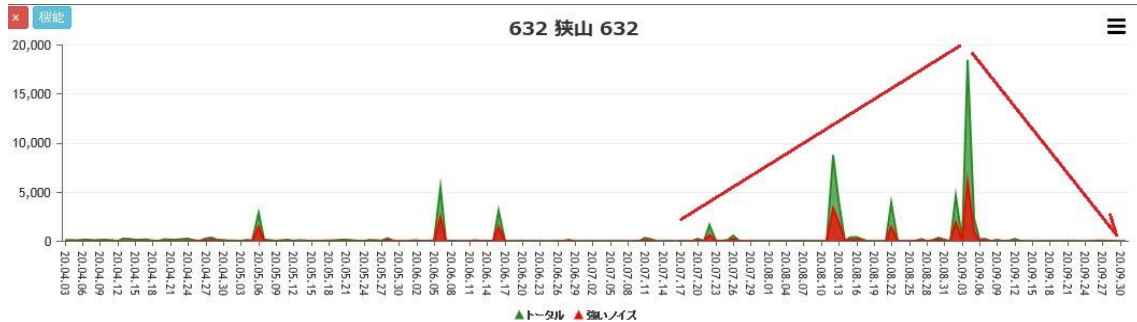
前橋 180 日間日毎データ



大島 180 日間日毎データ



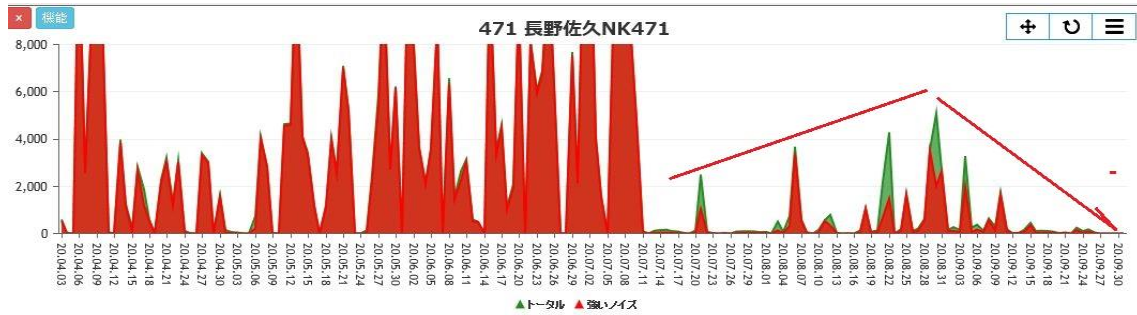
狭山 180 日間日毎データ



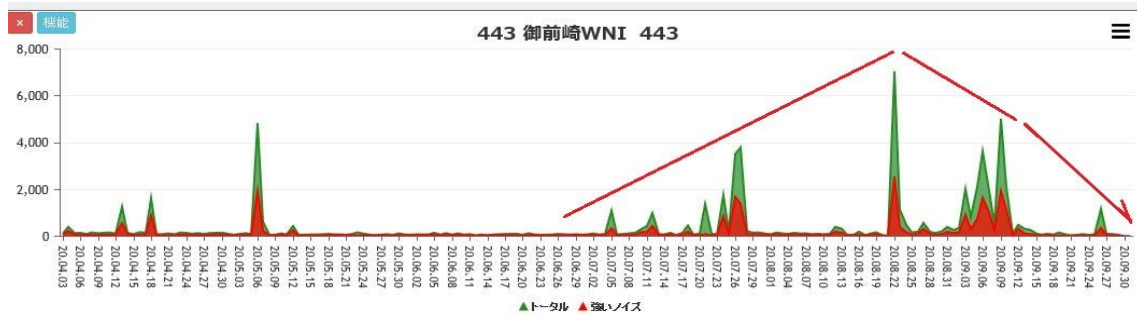
安曇野 180 日間日毎データ



佐久 180 日間日毎データ



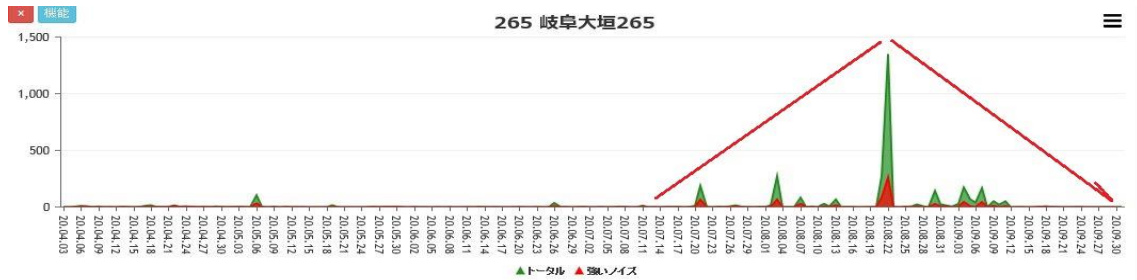
御前崎 180 日間日毎データ



浜北 355 180 日間日毎データ



岐阜大垣 180 日間日毎データ



豊橋 345180 日間日毎データ



和歌山大地 180 日間日毎データ



位置関係

